

## 閉会全体会合でのスピーチ

今日、ここで私たちのメッセージを伝える場があることをとても嬉しく思います。まず、私たちの活動をご紹介します。

私たち、子ども会議は、愛知県の小学5年生から中学生まで121人が参加しました。7月から活動を始め、現地学習やグループでの話し合いを重ねてきました。7月5日に初めてみんなが集まったときは、知らない人ばかりで緊張しましたが、私たちはすぐに仲良くなれるんです。

はじめに、開発途上国のことについて学びました。貧しくて学校に行けない子どもがいること、世界で6秒に1人が亡くなっていることを知り、ショックを受けました。

夏休みには5つのテーマに分かれて、現地学習へ行きました。気候変動・エネルギーコース。知らなかったことがたくさんありました。私たちが大人になるころ、地球温暖化の影響がもっと深刻になるのは困ります。再生可能エネルギーや農業の技術をもっと世界に広げたい。

生物多様性の海のコース。ほとんどの人が、普段、自分が使った水が、どこでどんなふうに処理されるのかわかりません。最後にどうなるかを知らなくてははいけません。藤前干潟にはたくさんの生き物がいました。干潟を通じて生き物の命を守りたいと思いました。

生物多様性の山のコース。矢並湿地には見たことのない生き物がたくさん。森の中で目を閉じたら、いろんな音、匂いがしました。生き物たちのすみかを、人間が自分勝手な理由で破壊してはいけません。私たちが自然を守りたい。

防災のコース。過去に起きた災害から、命について考えました。地震や津波が、自分とは関係ないと思っている人がいる。防災対策を知っていても、実行しない大人が多い。命を守るためには、地域のつながりがとても大切です。

文化のコース。愛知県には700年以上伝わる花祭りがあるんです。祭りを毎年行うことの大変さ、次の世代へ伝えることの難しさを知りました。伝統文化である和太鼓の体験。かっこいいし楽しい。もっとたくさんの人に伝えたい。

グループでの話し合いを進めていくと、5つのテーマは違うけれど、どれもつながりがあることがわかりました。そして、1人1人いろんな考え方があって意見が違うことも知りました。ただ、知識を学ぶだけでなく、自分で考えること、人と意見を言い合うことは、とても大切です。私たちは、子ども会議でたくさんのことを学びました。

では、子ども会議からのメッセージを聞いてください。

私たちが考える「持続可能な社会」は、「未来を考え、お互いを思いやり、人間だけでなくすべての生き物が共に、幸せに生きる社会」です。差別も不安もなく、平和で安全に、楽しく生活できる社会にしたいです。

しかし、今、私たちが生きている社会は、  
資源やエネルギーを無駄づかいし、自然環境を破壊しています。  
世界のどこかで戦争がおこっています。  
地域の伝統文化を伝えることが難しくなっています。  
防災対策をしている人が限られています。

たくさん問題があって、「持続可能な社会」とは言えません。  
そして、こういった問題は、すべて、人とつながっていることがわかりました。

「持続可能な社会」づくりを難しくしているのは、  
・とどまることを知らない人間の欲、自分勝手さ、わがままな気持ち  
・人々の意識や関心が低く、知識が少ないこと  
なのです。

いろいろな問題の原因をつくっているのは人間ですが、それを解決していくのも人間です。

「持続可能な社会」をつくるために、私たちは、次のことを実行します。  
・まだ知らないことがあるので、もっと現状を学びます。調べ、考え、参加します。  
・たくさんの人に知ってもらう必要があるので、ESDを学校や地域の人に伝えます。  
・身近に出来ることは提案し、行動し、実行します。  
・命を大切にし、人と人とのつながりを深め、交流します。

ここで、子ども会議から、大人みなさんに、次のことを提案します。

- ・戦争をしないでください。武力で解決しようとししないでください。
- ・世界の人々が協力して、どの国の人も教育が受けられる環境をつくってください。
- ・子ども会議のような、学び、考え、話せる場をもっとつくってください。大人もESDに興味を持って参加してください。
- ・知識も経験もある大人が、もっと私たちに教えてください。
- ・多くの人にESDを広めてください。ESDの考え方を広めて、今ある法律を変えてください。
- ・地域の人たちともっと交流をしてください。
- ・未来に目を向けて考えてください。当たり前のことを大切にしてほしいのです。子どもができて大人にできないわけがないと思います。

子ども会議の私たちが考える「ESD」とは、「未来を考えて、行動すること」です。みんながESDの主人公となって、今、これから、未来に向かって、ESDに取り組んでいきます。

ぼくは、リオ・サミットのセバン・スズキさんのスピーチを見ました。これを見てぼくは、22年前と今が何も変わっていないじゃないか、ということを感じました。

私たちは本気です。

大人みなさんも、本気になってESDに取り組んでください。ESDは、この世界の未来にとって一番大切なものなのではないでしょうか。

2014年11月12日

ESDあいち・なごや子ども会議 参加者一同